

マレーシアMIMOSとの間で包括的研究協力覚書を締結

NICTとマレーシアにある研究機関との関係では、これまでマルチメディア大学及びマラヤ大学との間で包括的研究協力覚書 (Memorandum of Understanding: MOU) を締結していましたが、2011年から、特に無線通信分野においてNICTとMIMOS*の研究者の間で研究連携が具体化してきていました。その後、双方でMOUの締結により今後の連携関係を発展させることが合意されたことから、2012年6月7日 (木) に宮原秀夫NICT理事長と今瀬真NICT理事を含むNICTメンバーがMIMOSを訪問し、宮原理事長とMIMOSのDatuk Abdul Wahab Abdullah所長とによりMOUへの署名が行われました。

* MIMOS

マレーシア科学技術革新省の傘下にある情報通信分野の政府系研究機関として、1985年に設立され、マイクロエレクトロニクス分野を中心として広く情報通信技術の研究開発を実施しています。



●MOUへの署名

Datuk Abdul Wahab Abdullah所長 (左) 及び宮原秀夫NICT理事長 (右)、署名を見守る中村滋在マレーシア日本大使 (後列左側)、Rodziah Putehマレーシア科学技術省 情報通信局 次長 (後列右側)

ITUハマドゥーン・トゥーレ事務総局長が来訪

ITU (国際電気通信連合) のハマドゥーン・トゥーレ事務総局長が、2012年6月12日 (火)、NICT本部を来訪され、宮原秀夫NICT理事長と意見交換を行いました。

宮原理事長から歓迎のあいさつの後、富永昌彦NICT理事が、NICTの概要及びITUにおけるNICTの標準化活動の状況とともに、今後、ITUの耐災害ICT関連の標準化活動や産学官連携を進めるカレイドスコープ等へ協力していくことについて説明しました。

また、事務総局長は、ネットワークセキュリティ研究所のインシデント分析センター (nicter)、光ネットワーク研究所の光パケット・光パス統合ネットワークシステムを視察されました。



●ハマドゥーン・トゥーレITU事務総局長 (左) と宮原秀夫NICT理事長 (右)